

勉強する習慣を高校生までに身に付けよう

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。先週は、ブータンのグロスナショナルハピネス(国民総幸福度)についてお話をさせていただきました。国民総生産、収入も大事ですが、幸福をどのように考えるかも大事であるかということをお話いたしました。

今日は、日本の高校生がどんなに勉強しないかを、アメリカや中国と比較しながらお話させていただきます。財団法人の日本青少年研究所がとりまとめた「高校生の学校外における平日の勉強時間」の調査があります。日本とアメリカ、中国の高校生の平日の勉強時間ですが、今から2年前にとりまとめた2002年度段階での資料によると、日本の高校生は、ほとんど勉強しないという人が51.4%でした。ほとんど勉強しないということは0分ですね。30分くらいという人が9.4%、1時間が10.6%、1時間半が8.0%でした。ですから、30分~1時間半が28%ということですね。中国では、ほとんど勉強しないが4.1%、30分くらいが2.9%、1時間が6.5%、1時間半が9.1%でした。つまり、勉強しない人はほとんどいません。中国では、2時間以上勉強する人75%もいるのに、日本は20%しかいません。まったく逆の結果ですね。

このことから、日本の高校生は、中国の高校生に比べてまったくと言ってよいほど勉強しないということがわかります。私は、できれば日本の高校生に長めに勉強していただきたいと思います。なぜかという、日本の高校生は、卒業した後に大学や専門学校、予備校など上の学校に74%も進学するからです。進学を希望しているにもかかわらず、学校外ではほとんど勉強していない人が8割もいるというのでは、大変なことになりますね。高校で勉強する内容の大部分は、中学校の勉強よりも難しいです。授業中にうっすら「うん、なるほど」と理解したことをしっかり定着させるためには、少なくとも2時間以上学校外での勉強が必要になります。上の学校の講義は、高校で既習した内容を前提として進んでいきますので、高校で学ぶ内容がしっかりと身に付いていないと、学力不足のために授業や研究活動に全くついていけないということになります。大学では、1時間の講義に対して自分で3時間勉強するということが前提になっていますが、高校生のときにほとんど勉強していない人が、大学生になったからといって急に8時間~9時間の勉強時間がとれるかということそれはなかなかできないと思います。ですから、現役の高校生は心を入れ替え、中国の高校生を見ならって勉強時間を大幅に増やすようお願いしたいと思います。

小学生や中学生は、高校生になっても2時間以上勉強するぞと心に決めて3時間、4時間と勉強していただき、高校での勉強を身に付けていただければと思います。

今は、せっかく就職をしても8~9割が職を離れてしまうと言われていています。職場での仕事は非常に難しい内容が多いですから、いろいろなことを身に付けなければなりません。研修やそのたいろいろなかたちで会社や上司は一所懸命教育しますが、なかなかそれについていけないということで、高校を卒業した人は9割が1年以内に辞めてしまう。大学を卒業して就職した人も6割が1年以内に辞めてしま

うのだそうです。

勉強する習慣が身に付いていない日本人が増えていますので、ぜひ勉強していただきたいと思います。最大のネックはゲームです。ゲームをする時間が長すぎると、勉強をする雰囲気になりませんので、どうかゲームをする時間をできるだけ少なくして勉強に励んで下さい。